

走者  
募集中

## 東京2020 3 来年6月6日 聖火リレーが長岡に

東京五輪の聖火リレーのルートが発表され、来年6月6日に長岡市を通ることが決まりました。来年3月26日に福島県をスタートして、121日間にわたり全47都道府県を回ります。県内は6月5日・6日の2日間で14市町村を回り、長岡市で6日のスタートを切ります。県内のルートや日程、走者の募集など詳しくは、県スポーツ課(☎025・280・5951)、県ホームページ<http://www.pref.niigata.lg.jp/kenminsports/1356909027662.html>へ。

### 聖火は前回大会も来ていた!

1964年10月2日・3日に、16歳~20歳の13人が十二瀨地区から六日市地区まで市内各地を走りました。前回大会の市内区間や走者をお知らせしている市政だより(1964年9月10日発行号)は、市ホームページ長岡市政ライブラリー<http://www.city.nagaoka.niigata.jp/elibrary/>で見ることができます。



▲市内を巡った聖火リレー(1964年10月)

## 2024パリ五輪を目指して BMXでW杯優勝 長岡出身・在住 片桐亮さん

BMX(バイシクルモトクロス)選手の片桐亮さんが、4月に広島県で行われたフラットランド競技のワールドカップで優勝しました。

小学校6年の頃から市内で技を磨き、世界を舞台に戦う片桐さん。「今後も長岡に拠点を置き、フラットランドが2024年パリ五輪の正式種目に採用されたら、金メダルを狙います」と決意を語りました。



▲平らな床で自転車を浮かせたり回転させたりして技を競うフラットランド

## 東京2020 2 オリンピアンが語る 五輪のコアな楽しみ方

### 7/24 水 東京2020五輪1年前イベント

#### ●長岡オリンピックトークショー

東京五輪の開幕までちょうど1年となる日に、長岡出身の五輪経験者などが、五輪の楽しみ方や体験を語ります。  
時間=午後5時30分~6時30分 場アオーレ長岡  
出演=中村真衣さん、星野純子さん、長谷川徳海さん



★来場者へのプレゼント抽選会もあります

#### ●カウントダウン映像の上映スタート

市民、トップアスリート、オーストラリア競泳選手などが、東京2020五輪に向けた想いやアスリートへの応援メッセージなどを記したボードを持って出演します。  
場アオーレ長岡大型ビジョン、まちかどフェニックスビジョン

#### ★出演者募集中!

メッセージを持った画像を長岡市スポーツ協会(☎34・2130)へEメール(2020message@n-spokyo.or.jp)でお送りください。



イメージ

## 8/24 土 為末大さんから学ぶ 「個で戦う~どのように志し、 学び、挑戦し、実現するか~」



米百俵未来塾  
公開講座

五輪に3回出場した男子400mハードルの日本記録保持者・為末大さんが、志を持つことの大切さと実現に向けての心構えを語ります。

時間=午前10時~11時15分 場長岡グランドホテル 定250人(先着)  
日7月10日(水)から長岡市スポーツ協会☎34・2130、FAX34・2170、Eメールinfo@n-spokyo.or.jpへ

※場・定などの略字の見方は18ページをご覧ください

東京2020五輪まで

あと1年

# 豪競泳チーム 聖火リレーがやってくる!

7月

来年6月



来年7月24日に東京五輪が開幕します。1年前となる今月、オーストラリア競泳チームとの交流や五輪経験者によるトークショーを行います。来年6月には、前回大会(1964年)に続いて聖火リレーが長岡にやってきます。みんなで一緒に、東京五輪に向けてカウントダウンを始めましょう! 県スポーツ振興課オリンピック・パラリンピック事前キャンプ誘致推進室☎32・6117

### 豪競泳チームが 事前合宿に

## 東京2020 1 豪競泳、“東京”の注目選手!

リオ五輪金メダル  
100m自由形の世界  
記録保持者!



ケイト・キャンベル

リオ五輪金メダル  
銅メダルも2個!



カイル・チャルマーズ

★事前合宿に参加する選手は、決まり次第、市ホームページでお知らせします

### 世界トップスイマーを見に行こう! 7月13日(土)公開練習

場ダイエープロビスフェニックスプール  
時間=午前10時~11時30分  
定1,000人(先着)(直接会場へ)



世界的書道家が  
揮毫で応援!  
タイトル右上の「GO豪」は、2002年のサッカー日韓ワールドカップの公式エンブレム(スタンプ版)を制作した市内在住の書道家・柳澤魁秀さんが揮毫しました。オーストラリア競泳チームへの応援メッセージとして、水しぶきや躍動感を表現しています。今後、さまざまな場面で使い、応援していきます。



オーストラリア競泳選手による市内の小学生への実技指導(昨年8月4日)